

人のいるところには
夢がいる。



JAPAN ARTS

Leif Ove Andsnes
Piano Recital

レイフ・オヴェ・アンズネス
ピアノ・リサイタル

2025年10月30日(木) 19:00開演
東京オペラシティコンサートホール

7:00p.m., Thursday, October 30, 2025 at Tokyo Opera City Concert Hall

主催：ジャパン・アーツ
後援：ノルウェー大使館
協力：ソニー・ミュージックレーベルズ



Norwegian Embassy
Tokyo



Program

グリーグ：ピアノ・ソナタ ホ短調 Op.7

- 第1楽章：アレグロ・モデラート
第2楽章：アンダンテ・モルト
第3楽章：アラ・メヌエット・マ・ポコ・ビウ・レント
第4楽章：フィナーレ、モルト・アレグロ

シューマン：謝肉祭 Op.9

- | | |
|--------------------------|---|
| 第1曲：前口上 | Préambule |
| 第2曲：ピエロ | Pierrot |
| 第3曲：アルルカン | Arlequin |
| 第4曲：高貴なワルツ | Valse noble |
| 第5曲：オイゼビウス | Eusebius |
| 第6曲：フロレスタン | Florestan |
| 第7曲：コケット | Coquette |
| 第8曲：返答 | Réplique |
| 第9曲：パピヨン | Papillons |
| 第10曲：躍る文字A.S.C.H～S.C.H.A | A.S.C.H. - S.C.H.A. (Lettres dansantes) |
| 第11曲：キアリーナ | Chiarina |
| 第12曲：ショパン | Chopin |

* * *

ショパン：24の前奏曲 Op.28

- | | |
|-----------|---------------|
| 第1番：ハ長調 | アジタート |
| 第2番：イ短調 | レント |
| 第3番：ト長調 | ヴィヴァーチェ |
| 第4番：ホ短調 | ラルゴ |
| 第5番：ニ長調 | アレグロ・モルト |
| 第6番：ロ短調 | レント・アッサイ |
| 第7番：イ長調 | アンダンティーノ |
| 第8番：嬰ヘ短調 | モルト・アジタート |
| 第9番：ホ長調 | ラルゴ |
| 第10番：嬰ハ短調 | アレグロ・モルト |
| 第11番：ロ長調 | ヴィヴァーチェ |
| 第12番：嬰ト短調 | プレスト |
| 第13番：嬰ヘ長調 | レント |
| 第14番：変ホ短調 | アレグロ |
| 第15番：変ニ長調 | ソステヌート |
| 第16番：変ロ短調 | プレスト・コン・フオーコ |
| 第17番：変イ長調 | アレグレット |
| 第18番：ヘ短調 | モルト・アレグロ |
| 第19番：変ホ長調 | ヴィヴァーチェ |
| 第20番：ハ短調 | ラルゴ |
| 第21番：変ロ長調 | カンタービレ |
| 第22番：ト短調 | モルト・アジタート |
| 第23番：ヘ長調 | モデラート |
| 第24番：ニ短調 | アレグロ・アパッシオナート |

E. Grieg: Piano Sonata in E minor, Op.7

- 1st Mov.: Allegro moderato
2nd Mov.: Andante molto
3rd Mov.: Alla menuetto ma poco piu lento
4th Mov.: Finale. Molto allegro

R. Shumann: Carnaval, Op.9

- | | |
|---------------------------|--|
| 第13曲：エストレラ | Estrella |
| 第14曲：再会 | Reconnaissance |
| 第15曲：パンタロンとコロンビーヌ | Pantalon et Colombine |
| 第16曲：ドイツ風ワルツ | Valse allemande |
| 第17曲：間奏曲、パガニーニ | Intermezzo, Paganini |
| 第18曲：告白 | Aveu |
| 第19曲：プロムナード | Promenade |
| 第20曲：パウゼ(休憩) | Pause |
| 第21曲：フィリシテ人と闘うダヴィッド同盟員の行進 | Marche des "Davidsbündler" contre les Philistins |

F. Chopin: 24 Preludes, Op.28

- | | |
|---------------|----------------------|
| C major | Agitato |
| A minor | Lento |
| G major | Vivace |
| E minor | Largo |
| D major | Allegro molto |
| B minor | Lento assai |
| A major | Andantino |
| F-sharp minor | Molto agitato |
| E major | Largo |
| C-sharp minor | Allegro molto |
| B major | Vivace |
| G-sharp minor | Presto |
| F-sharp major | Lento |
| E-flat minor | Allegro |
| D-flat major | Sostenuto |
| B-flat minor | Presto con fuoco |
| A-flat major | Allegretto |
| F minor | Molto allegro |
| E-flat major | Vivace |
| C minor | Largo |
| B-flat major | Cantabile |
| G minor | Molto agitato |
| F major | Moderato |
| D minor | Allegro appassionato |

※当初予定のプログラムから一部変更がございます。

Profile

レイフ・オヴェ・アンスネス (ピアノ)

Leif Ove Andsnes, Piano



© Helge Hansen Sony Music Entertainment

強力なテクニックと綿密な解釈で国際的な名声を獲得し、ニューヨーク・タイムズでは「威厳ある優美さ、力強さ、洞察力を有するピアニスト」と評されている。

2024/25シーズンは、ベルリン・フィル、ニューヨーク・フィル、ロンドン響、サンタ・チェチーリア管、ゲヴァントハウス管、パリ管、チェコ・フィルなどと共演。カーネギーホール、ウィグモア・ホールなどを含むリサイタル・ツアーもおこなっている。

初代アーティスト・パートナーを務めたマーラー・チェンバー・オーケストラとは、ベートーヴェンのピアノ協奏曲全5曲を弾き振りし、協奏曲チクルスの演奏が達成された。また、モーツァルトの生涯で最も創造的で独創的であった期間を、数シーズンにわたり探求するプロジェクト「モーツァルト・モメンタム1785/86」も成功させた。

録音にも精力的に取り組み、ソロ、室内楽、協奏曲など50タイトル以上のCDをリリースしている。これまでにグラミー賞に11回ノミネートされ、グラモフォン賞7回を含む様々な国際的な賞を受賞した。2023年には、EMIクラシックスとヴァージンでの録音を集めたCD36枚のボックスが発売され、大きな話題を呼んだ。ソニー・クラシカルからは、『リスト：十字架の道行き & コンソレーション』、『ドヴォルザーク：詩的な音画』、ショパンのバラードとノクターン、ビルボードでベストセラーになったシベリウスなど多数リリースされている。

ノルウェーの最高の名誉とされるノルウェー王国聖オラフ勲章コマンダー、2007年には政治、スポーツ、文化の分野で顕著な成功を収めたノルウェー人に与えられるペール・ギユント賞など数々の賞を受賞している。

1970年ノルウェーのカルメイ生まれ。ベルゲン音楽院で高名なチェコ人の教授、イルジ・フリンカに師事した。イルジ・フリンカ・ピアノ・アカデミーの芸術顧問を務め、毎年、参加学生にマスタークラスを開いている。夏には、ノルウェーにて「ローゼンダール室内楽音楽祭」を2016年より開催。創設者として監督を務め、多くの著名アーティストが参加してきた。2026年からは音楽顧問として関わる予定。



Leif Ove Andsnes

レイフ・オヴェ・アンスネス 2025年 日本公演

- | | | | |
|------------|------|--------------------------|---------------------|
| 10月24日(金) | [東京] | NHKホール | 主催：NHK/NHK交響楽団 ★ |
| 10月25日(土) | [東京] | NHKホール | 主催：NHK/NHK交響楽団 ★ |
| 11月1日(土) | [横浜] | フィリアホール | 主催：フィリアホール |
| 11月3日(月・祝) | [西宮] | 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール | 主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター |

★ NHK交響楽団との共演

平野 昭 (音楽評論家) Akira Hirano

「音楽的な観点から熟考し、現在の私自身をよりよく表現できる内容のプログラムに変更しました」と、アンスネスはメッセージを寄せている。シューマンの《謝肉祭》を挟んで、最初にグリーグ、そして最後にショパン作品を置くことで、19世紀ピアノ音楽の多彩な表現世界に底流するロマン主義の本質に迫ろうという選曲だ。若いグリーグの野心と情熱、標題音楽的な演劇性をもつシューマンの世界、絶対音楽でありながら詩的抒情を喚起させずにおかないショパンの小品宇宙が描きあげられる。

グリーグ(1843-1907)：ピアノ・ソナタ ホ短調 Op.7

ノルウェーのベルゲンに生れたグリーグはドイツで音楽を学んだピアニストの母に手ほどきを受け幼少期から楽才を発揮する。15歳の1858年夏からライプツィヒ音楽院に留学し、シューマンと親交のあったフェルディナンド・ヴェンツェルに師事してシューマンの音楽に夢中になる。この時代のグリーグはメンデルスゾーンやシューマンの作品を通してドイツ・ロマン派音楽から大きな影響を受けている。優れたピアニストでもあったグリーグには全10集66曲の《抒情小曲集》をはじめとして多くのピアノ小品が残されているがソナタはこの1曲だけである。音楽院を卒業しコペンハーゲンを拠点にピアニストとして活躍していた1865年、22歳の誕生日を迎えた6月に2週間足らずでこの「ホ短調」ソナタを作曲している(1887年改訂)。因みに唯一のピアノ協奏曲はこの3年後の1868年の作曲。

全4楽章を通して随所にシューマンへの憧れと挑戦が若者らしい情熱的な手法で表現されている。全体にオクターヴ奏や分厚い和音構成による展開が多く、協奏曲への志向もうかがえる。伝統的な様式によるピアノ・ソナタはすでに時代遅れとなっていたが、作曲家としては克服しなければならないジャンルでもあった。ホ短調ソナタであるが、終楽章のコーダでは冒険からの凱旋を謳歌するホ長調の明るい響きとなる。

第1楽章：アレグロ・モデラート、ホ短調、2/4拍子～6/8拍子～2/4拍子

第2楽章：アンダンテ・モルト、ハ長調、4/4拍子～リステット・テンポ12/8拍子

第3楽章：アラ・メヌエット、マ・ポ・コ・ビウ・レント、ホ短調、3/4拍子～ホ長調、9/8拍子～ホ短調、3/4拍子

第4楽章：フィナーレ、モルト・アレグロ、ホ短調、6/8拍子～ホ長調

シューマン(1810-56)：謝肉祭(カーナヴァル 4つの音に基づく愛らしい情景) Op.9

1810年前後に生まれたメンデルスゾーン(1809年)、シューマン、ショパン、リスト(1811年)の4人は19世紀ピアノ音楽百花繚乱の時代を築いた立役者たちだが、互いの作品を知る彼らは相手の領域には踏み込まず、全く異なるそれぞれの表現形式を開拓している。文学に精通したシューマンは小品連鎖による「組曲」に新しい生命を吹き込んでいる。全曲を有機的に統一する手法はシューマン独自の変奏技法によっている。例えば、《アベッグABEGG変奏曲》Op.1は人名アベッグをドイツ音名で表した主題を用いる、Op.2の《パピヨン(蝶々)》は幼虫→蛹→成虫への変態変容から発想された変奏の変態でもある。出版が1837年と遅れたが、1834年作曲の《交響的練習曲》Op.13も実質は主題と12の変奏曲である。ほぼ同時期の1834/35年に作曲された《謝肉祭》も特殊な変奏曲と言ってよい。謝肉祭に付き物の仮面舞踏会の変装仮装による乱痴気騒ぎだが、この曲の登場キャラクターには実在の人物の他にイタリアのコンメディア・デラルテやシューマンが構想した旧世代の俗物主義への批判精神を信条とする架空の結社「ダヴィッド同盟」の同盟員が多く登場する。

全曲は大きい導入曲と終曲を含めて21曲からなるが、第8曲「返答」と第9曲「パピヨン」の間に、変奏主題の源泉となる謎に満ちた3種類の音形譜例「スフィンクス」が置かれている。No.1：Es(S)-C-H-A(変ホーハーローイ)、No.2：As-C-H(変イーハーロ)、No.3：A-Es(S)-C-H(イー変ホーハーロ)であるが、これに関してシューマンはこの頃の恋人であったエルネスティーネ・フォン・ブリッケン(1816～44)に宛てた1834年9月13日の手紙で「アッシュ Äsch(彼女の生まれた町)は大変に音楽的な町名で、そこには僕の名前も入っているし、僕の名前で音名になるのもこの4文字だけ(Schumann)であることに今気が付いた」と書いている。恐らくこの直後から作曲に着手して1835年に完成させた初期の傑作だ。

1)前口上 2)ピエロ 3)アルルカン 4)高貴なワルツ 5)オイゼビウス 6)フロレスタン 7)コケット

8)返答「スフィンクス3つの譜例」 9)パピヨン 10)踊る文字A.S.C.H～S.C.H.A

11)キアリーナ(クララの同盟員名) 12)ショパン 13)エストレッラ(エルネスティーネの同盟員名)

14)再会 15)パンタロンとコロンビーヌ 16)ドイツ風ワルツ

17)間奏曲：バガニニ(コーダ部はドイツ風ワルツの再現) 18)告白 19)プロムナード

20)バウゼ(休憩)=第1曲の前口上第87小節～第113小節の完全な回想再現

21)フィリシテ人と闘うダヴィッド同盟員の行進

ショパン(1810～49)：24の前奏曲 Op.28

ショパンはシューマンとは別の方法で小品連鎖を追求している。Op.10とOp.25の二組の「12の練習曲」もこの「24の前奏曲」も集中的な創作というより、出版時に調性を基準として曲順や組み合わせを整えたものである。1837年ころから数曲ずつ作曲し、1838年10月から39年1月までのマヨルカ島滞在中に仕上げられたと推定されている。

この「24の前奏曲」はJ.S.バッハの24の前奏曲とフーガからなる《平均律クラヴィア曲集》の影響が大きいと言われているが、19世紀初頭にもM.クレメンティの《すべての長調と短調による前奏曲と練習曲》(1811年)、J.N.フンメルの《長調と短調による24の前奏曲》(1815年)、I.モーシェレスの《すべての長調と短調による50の前奏曲》(1827年)等々の作品が出版されており、ショパンがそれらを知っていたことも確かなのである。ただ、バッハをはじめ多くの作曲家たちがハ長調～ハ短調から順次半音ずつ高い調へ移行しながら最後にロ長調→ロ短調に至る24曲を並べたのに対し、ショパンはハ長調から平行短調を挟みながら時計回りに5度圏を廻るという24曲を並べている。調号なしの「ハ長調」を1番に、平行調の「イ短調」を2番とし、#調号をひとつずつ増やして#6つの第13曲「嬰ハ長調」まで#系で、第14番は平行短調「嬰ニ短調」の代わりに異名同音のb6つの「変ホ短調」とし、以降はb調号をひとつずつ減らしてbひとつの第23番「ヘ長調」、第24番「ニ短調」に至っている。こうすることで和声的調性的響きの自然かつ有機的連環を維持して全24曲からなるひとつの音楽宇宙を構築している。

しかし、この《24の前奏曲》は見かけ上の調号と終止音からみた調性で並べられているが、音楽内容は正規の長調や短調ではなく、ドリアやフリギア、リディア、エオリア旋法さらには民族的5音音階にきわめて接近した曲が少なくない。例えば、第2曲はイ短調、第4曲はホ短調とされるが、最後の2小節の和声終止形が調を決定しているだけで、旋律主題から長調、短調の特定は困難である。シューマンはこの「24の前奏曲」を「スケッチかエチュードの卵に過ぎない」と批判しているが、リストは「きわめて高度に洗練された詩的な小品世界」と称賛している。24曲それぞれが独自の形式で書かれ、性格小品としての自律美も備えている。因みに、最も短い曲は#3つの第7曲イ長調(某薬品メーカーの胃腸薬のCMで馴染みの16小節の曲)、最も長いのはb5つの第15曲変ニ長調(俗称《雨だれ》、ソステヌートのゆっくりしたテンポの89小節)だ。

ARTIST SUPPORT

【アーティストサポート】へ、多くの皆様からお気持ちをお寄せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。
寄せられたご支援は、アーティストの様々な活動に幅広く使わせていただいております。
「人のいるところには夢がいる」2026年には創業50周年を迎えるジャパン・アーツの理念です。
どんな時代においても、音楽・芸術から生まれる感動は、
人々に夢・希望・生きる力を与えてくれます。
これまでの活動レポートは、ジャパン・アーツのホームページに
掲載しておりますので、どうぞご覧ください。
これからも引き続き変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



アーティストサポートの詳細は
こちらをご覧ください。

◆ ◆ ◆ ◆ 2025年度ご支援いただいた皆さま ◆ ◆ ◆ ◆

<年間サポート>

【個人サポーター】

朝妻 幸雄 M.I. 岩村 和央 K.U. 上村 憲裕 榎本 英二 Y.E. K.O. 大原 志津子 片山 由美子 K.K.
神田 尚子 北村 眞 小林 真希子 R.K. 相良 延利 新貝 康司 鈴木 忠明 M.T. R.T. 武田 健二
伊達 朱実 田中 治郎 東條 Lilly K.T. トゥループ 真智子 苫米地 英人 K.N. E.N. 児子 弥生 S.N.
長谷川 智子 T.H. 樋口 美枝子 M.H. 平山 美由紀 藤野 盾臣 細沼 康子 M.H. 松尾 芳樹 真野 美千代
三木谷 晴子 安田 牧子 山川 和子 山崎 明日香 横谷 雅子
(匿名希望 15名)

【法人サポーター】

三和プリンティング株式会社 株式会社 青林堂
三井住友カード株式会社 ロイヤルリゾート株式会社
株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント きづきアセット株式会社
株式会社ロジックアンドエモーション ライフプラン株式会社

<館野泉パースデープロジェクト「みんなで祝おう! 卒寿記念コンサート」>

池戸 眞理子 一柳 吉子 稲垣 美晴 えこ 上原 洋子 植村 月枝 岡村 茉莉奈 木全 恵美子 久間 和子 坂井 和
佐々木 暁子 澤井 みのり スオミ・ピアノ・スクール研究会 鈴木 早苗 高橋 理都子 田邊 英利子 照井 はるみ
K.T. 中村 康江 橋本 利明 服部 喜恵子 林 幸仁 原田 君代 平山 美由紀 福田 誠 藤澤 ふさ子
真野 美千代 安田 牧子 湯本 早百合
館野泉ファンクラブ 館野泉ファンクラブ九州 館野泉ファンクラブ北海道
(匿名希望 3名)

<ウィーン少年合唱団 オフタイム・サポート>

石坂 雅美 K.I. K.K. Y.K. 佐久間 隆弥 Rimiko N.S. 竹内 麻里子 中尾 圭吾 T.H. 樋口 美枝子 K.F.
細沼 康子 M.H. M.M. 水足 久美子 水足 秀一郎 ロロコミ
(匿名希望 11名)

<ウィーン少年合唱団 ツアー・サポート>

江田 明子 T.O. K.K. 佐久間 隆弥 Rimiko M.T. 平山 美由紀 細沼 康子 M.M. 柳瀬 美佐子 ロロコミ
(匿名希望 9名)

<千住真理子に「花を贈ろう!」プロジェクト>

石坂 雅美 北村 眞 城戸 健二 桑原 仁志 小森 桂子 佐藤 亨 田中 治郎 H.H. 道又 利 村上 晃彦 横田 邦子
(匿名希望 7名)

2025年10月16日現在 敬称略

お知らせ

現在2025年度年間サポートを受付中です。詳細は、ジャパン・アーツの公式WEBサイトおよび公演チラシ挟み込みの申込用紙等をご覧ください。

株式会社ジャパン・アーツ アーティストサポート係 TEL.03-3499-7720 (平日11:00~17:00 年末年始を除く)